

編集後記

附属次世代型学び研究開発センター紀要『教育実践研究』は、2000年に創刊されました附属教育実践総合センター紀要『教育実践研究』を引き継いだ第16号に続いて、このたび第21号の刊行を迎えることができました。

本号では、特集ページ「ICT活用による学びの支援」、「その他教育実践に関わる研究」に関する論文、実践報告、資料、解説を募集し、査読のある原著論文は募集しませんでした。

特集ページ「ICT活用による学びの支援」には、モーフィングソフトを用いた学習成果、海外の大学とのオンラインプロジェクトに関する成果報告、オンライン実習の可能性と課題に関する研究成果、テキストマイニングツールを活用した成果、オンライン教育実習に関する報告、学校現場や大学におけるICT活用授業の可能性と課題に関する研究成果が収録されています。特集ページの論文6編、特集ページの実践報告7編、論文1編、実践報告4編、資料1編計19編が掲載され、大変充実した内容となりました。

附属次世代型学び研究開発センターは、教育委員会、学校等と連携を図り、「学び」に関する理論的、実践的、臨床的な研究・開発を行うことで「次世代型学び」を探求し、学生の皆さんの教育や現場の先生方の研修に寄与することを目的としています。今回の特集を含め、本号で紹介いたしました研究成果が、大学の教員や現場の教諭の皆様等からのご指導・ご助言により更に練磨され、児童・生徒・学生に必要な資質・能力の育成に繋がることを切に願っております。

時代の電子化の流れのなかで附属次世代型学び研究開発センター紀要『教育実践研究』も本号より電子版のみの発行となりました。表紙のデザインは橋本光明名誉教授に、英文タイトルおよび要旨校閲は高橋ユウエン先生に、編集作業については事務補佐員の夏目尚子さん、荒井美帆さんに献身的なご協力をいただきました。この場をお借りしまして、編集委員会より心から感謝と御礼を申し上げます。

(第21号編集委員長 渡辺敏明)